

## 抗 Spt3p (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギ抗血清

62-005 100 µl

保存: 4℃または-20℃で送付、長期保存は-20℃

免疫原: Recombinant His-tagged *S. cerevisiae* Spt (1-200 aa)

形状: 0.1%アジ化ナトリウム添加抗血清

反応性: 出芽酵母 Spt3 タンパク質

用途

1. ウェスタンブロット (1/1,000~1/5,000)
2. ELISA

**背景:** SAGA (Spt-Ada-Gcn5 histone acetyltransferase complex) は Gcn5p を触媒サブユニットとするヒストンアセチラーゼ複合体であり、Taf1p を触媒サブユニットとする基本転写因子 TFIID と重複した機能を持つ。ただし SAGA と TFIID には役割分担があり、それぞれハウスキーピング型遺伝子群、ストレス応答性遺伝子群の転写において重要な役割を果たすといわれている。また SAGA は、Ada タンパク質群 (5 種類)、TBP 関連タンパク質群 (4 種類)、TAF タンパク質群 (TFIID にも共通に含まれる 5 種類)、その他のタンパク質群 (>6 種類) から構成される巨大なタンパク質複合体である。その分子機能としては、ヒストンの化学修飾、直接的な相互作用を介した転写調節因子の DNA 上へのリクルート、TBP を介した転写開始反応制御などを挙げることができる。**Spt3p** は上記 TBP 関連タンパク質群の一種であり、出芽酵母の場合、337 個のアミノ酸残基 (aa) から構成される。

データリンク: SGD [SPT3](#)

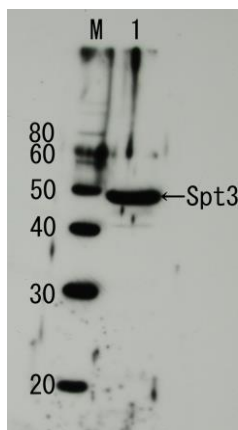


図 抗 Spt3p 抗体を用いたウェスタンブロット法による Spt3p 抗原の検出

レーン 1: 出芽酵母細胞抽出液  
抗血清は 5,000 倍希釈して使用

**文献:** 本抗体は以下の論文で使われている。

1. Takahata S *et al.* "Autonomous function of the amino-terminal inhibitory domain of TAF1 in transcriptional regulation." *MolCell. Biol.* **24**: 3089 -3099(2004) PMID: [15060133](#)

**WB**

2. Takahashi H *et al.* Saccharomyces cerevisiae Med9 comprises two functionally distinct domains that play different roles in transcriptional regulation. *Genes Cells.* 2009 Jan;14(1):53-67. **WB**